

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立いずみ高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	生物・環境系総合高等学校の特色を踏まえ、目指す学校像が設定されている。生徒の実態や学校の現状に応じた適切なものであるが、より簡潔で魅力あるものになるよう検討していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	今年度重点目標の見直しが図られ、中期的な視点から設定されている。目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき課題が明確かつ具体的に示されており、日々の教育活動の指針となっている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	分掌・学年等が連携しながら、目標達成を目指している。評価項目や方策が重点目標を実現するものとなるように整合性を持たせ、より重点化して具体性のあるものにし、組織的な体制を整備していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	評価運営委員会が中心となって方策を策定し、課題の解決のために取り組んでいる。評価指標については、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮し、将来構想委員会を立ち上げるなど課題の解決の方向を示している。目標の達成に向け、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。学校関係者の意見やアンケートの結果等を分析・考察して、達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			